

## 目標達成計画

作成日: 令和3年3月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	複合施設内の身体拘束廃止委員会が中心となり、研修会を開催したり、外部研修等にも参加しているが、言葉による抑制についての意識は個人差が生じている。	誰が聞いても違和感のない言葉づかいや対応に努め、自身の対応を振り返り、気になるところは指摘し合い、処遇を話し合っていきたい。	身体拘束、虐待防止、スピーチロックについて話し合い、言葉づかい、声かけの配慮、ケアに対する職員の意識を確認し、毎回のケアカンファレンスにて廃止に向けた有効な取り組みについて検討していく。	12ヶ月
2	13	複合施設内では研修委員会が中心になり、年間に6回の支援サービスに必須となる研修を行っているが、事業所での認知症に特化した勉強会はなかなか取り組めていない。	現状把握、意見交換等改善に向けての方策を討つケース会議を増やし、知識や技術の向上を図りながら、意識改革やスキルアップにつなげていきたい。	・ケース会議やカンファレンスと併行して認知症ケアについて毎回テーマを設け取り組んでいく。 ・資料を参照しながら意見を交換をしたり、情報収集や気づきから良支援に結びつけ、対応力を身につける。	12ヶ月
3	35 (13)	施設の防災訓練は定期的に行っているが区長、班長、近隣住民の方との具体的な地域の災害対策等の話し合いの場に参加できていない。	現状では地域との積極的な交流は難しいことではあるが、地域と事業所間で防災対策(避難訓練や定例会等)について情報交換等ができる方法を模索検討していきたい。	避難訓練等の災害対策について区長、班長、近隣住民の方との意見交換や情報共有の方法を検討し、事業所の防災訓練の実状や災害時の相互の協力可能な事、役割等の相談や確認する方法手段を整えていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。